

## 令和5年度(令和4年度分) 指定管理者評価表【基本事項】

## 1. 指定管理施設及び指定管理者概要

施設名称	周南市体験交流施設大津島の郷			所管課	地域づくり推進課
所在地	周南市大字大津島217-1				☎ 22-8336
設置年月日	平成25年4月1日				
設置目的	大津島の豊かな自然と歴史及び文化の中で、体験活動及び宿泊研修を通じて、市民の健全な心身の育成を図るとともに、交流による離島地域への理解と地域住民の活動を促進することにより、地域の活性化と住民福祉の増進を図る。				
施設概要	【敷地面積】6,555㎡ 【延床面積】1,036㎡ 【主要施設】：本館研修棟 ●宿泊室：ベッド(4室)、和室(2室)、和室兼研修室(1室) ●研修室：研修室(2室(研修室1(兼食堂)・研修室2(兼宿泊室)) ●その他：浴室、トイレ、体育館、屋外グラウンド				
指定管理者	名称	一般社団法人大津島研究所			
	代表者	代表理事 小池良太			
	所在地	周南市大字大津島2089番地			
	連絡先	電話	0834-85-2560	E-mail	info@uminosato.main.jp
		ホームページアドレス	https://uminosato.jp/		
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日			年数	5年間
募集方法	非公募		料金制度	使用料	
指定管理の主な業務	①野外体験活動、集団研修及び体験交流活動の実施に関する業務 ②その他施設の設置目的を達成するために必要な業務(施設の使用に関する業務、施設の利用の促進に関する業務、体験・研修等の事業に関する業務、維持管理に関する業務、安全管理等に関する業務、その他の管理業務(事業報告書の作成等))				

## 2. 施設の運営状況

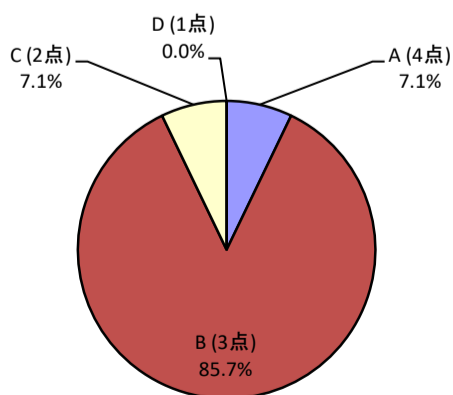
目標管理	目標指標名		年度	R4年度	R5年度
	利用者数(人)			目標値	3,000人
		実績値	1,279人	—	
施設の稼働状況	利用区分等		利用目標	利用実績	稼働率(%)
	宿泊室				2.5%
	研修室				16.7%
指定管理業務に係る収支状況	項目		収支計画額(円)		実績額(円)
	収入	指定管理料	22,886,000		22,493,257
		利用料金収入			
		その他の収入			
		計	22,886,000		22,493,257
	支出	人件費	11,923,000		10,156,883
		物件費	9,401,000		8,292,499
		委託料	1,562,000		1,538,917
		その他			
	計	22,886,000		19,988,299	
参考	使用料収入				146,030
	自主事業収入				
	自主事業経費				

令和5年度(令和4年度分) 指定管理者評価表【評価】

施設名		周南市体験交流施設大津島の郷	
指定管理者名		一般社団法人大津島研究所	
項目	評価内容	評価事項・不適切事項等	評価
全体	目標の達成状況	コロナ禍による社会情勢等も影響し、目標を大きく下回る結果になったが、施設の適切な管理運営が実施されているとともに、企画事業の実施など、利用者数の確保に向けた取組みに努めている。	C
組織	体制・人事	安心・安全な受入体制の確保に向け、スタッフ・関係者の研修、ミーティング等を定期的に行い職員のスキル向上を図っており、事故なく適切に事業が展開されている。	B
業務	業務の運営	コロナ禍の影響はあったものの、リモートを活用した体験プログラムの研究や新規事業の検討など新規利用者やリピーターの確保に努めている。	B
	施設の稼働状況	コロナ禍の影響により、例年予定していた企業研修や学校活動の受け入れは減少したが、体験活動のプログラムは利用者側の評価も高く、リピーターの確保に繋がるとともに、家族を対象とした企画事業などの実施により利用率の向上を図っている。	B
	施設の維持管理(清掃等)	日常的な清掃を実施し、施設の敷地内は常に清潔な状態が保たれている。また、清掃しにくい箇所は定期清掃や委託等による清掃を行うなど適切に実施されている。	B
	施設の維持管理(点検・修繕等)	定期的に施設の維持管理を行う体制を整えるとともに、職員が訪問した際には、施設の不具合箇所等のヒアリングを実施するなど、施設の維持管理については適切に実施されている。	B
	緊急時の対応方法	本施設は市の災害時指定避難場所となっていることから、台風等の災害が予測される際には市が行う避難所の運営に積極的に協力する体制を整えている。また、離島という特性から、島内において傷病人が発生した際には緊急搬送の一部も担っており、施設で管理する車に担架を常備するなど、日頃から緊急搬送に対応できるように努めている。	A
工夫	サービス向上及び経営改善に関する取組み	モニタリングや利用者の声を踏まえ要望等に適切に対応し、リピーターの確保に努めている。	B
広報	PR・情報提供の実施状況	企画事業やPR活動の実施により、閑散期の利用促進に努めている。	B
相談・連携	苦情処理の状況	相談等は、関係機関へ連携をとり、適切な対応を行っている。	B
	情報共有	スタッフ間での情報共有や市との情報共有を密に行うなど適切に対応している。また、事故や、トラブルの際は、市へ情報共有がされている。	B
モニタリング	指定管理経費の経理事務の状況	指定管理料の経理が確実になされているほか、使用料の徴収、管理も適切に事務処理されている。	B
	利用者満足度調査における施設満足度	利用者アンケート等の結果からは一定の評価を得ており、利用団体・利用者の満足度は高い。	B
	書類の作成・提出	適切に作成され、期限内に提出されている。	B
評価コメント	令和4年度は、コロナ禍以前に比べて利用者数は低調であったが、企画事業等の実施など、新規利用者やリピーターの確保に向けた取組みに努めるとともに、安心・安全な受入体制の確保に向け、スタッフの研修等をきめ細かく行うなどして、コロナ禍の状況の中でも事故なく適切な管理運営が実施されている。一方で、研修や体験活動の受け入れや、企画事業の開催等により利用促進を図っているところであるが、高校や大学の合宿等における貸館利用など、新たな利用者の確保に向けた周知・PR活動を積極的に実施する必要があると考えられる。		総合評価 <b>B</b>
	施設運営や安全管理は適切に実施されており、管理・運営体制の更なる充実に取り組むとともに、既存の研修プログラムを磨きながら、リピーターの確保に努めつつ、新たなプログラムの検討など、利用者の増加や満足度の向上を目指し、大津島の魅力を多くの方に提供できる施設となることを期待したい。		平均点 <b>3.0</b>

※4点満点

評価結果の割合



※端数処理のため、評価結果(A~D)の割合の合計が100%にならない場合があります。

項目別評価結果

